

少年の主張大会 ～中学生が日頃の思いを発表～



発表者の皆さん

小野町青少年育成町民会議主催の「少年の主張大会」が7月8日、小野中学校体育館で開かれました。

この大会は、中学生が日頃考えていることや感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めることを目的に毎年開かれています。

今回は、小野中学校の1年生から3年生までの計9人が、それぞれ自分の思いや願いを発表しました。

審査員5人による審査の結果、3年吉田凜さんが最優秀賞に選ばれました。

吉田さんの発表の要旨は

次のとおりです。

『高齢者ドライバーの事故が多発していることを受けて、小野町のように自分で運転しないと生活できない現状がある中で、高齢者ドライバーの事故を減らすためにどのようなことをすればいいのかを考えました。』

私の祖父はタクシードライバーですが、私たち家族が高齢者ドライバーの異変を見逃さないことや免許返納について家族で話し合えるような環境にすることが大切であり、免許返納後も町が実施している高齢者や妊婦、身体障がい者の方が安心して暮らせるような支援策が必要だと思えます。

そのほかにもたくさんの方があると思います。皆さんでアイデアを出し合って便利で安心な地域づくりをしていきたいと思っています。』

審査の結果は、左のとおりです。
なお最優秀賞と優秀賞の3人の方を少年の主張大会に推薦します。(敬称略)



○最優秀賞

安全な地域づくりのために
3年 吉田 凜

○優秀賞 (発表順)

私を変えたもの
1年 宗像 亜恋
大切な人から学ぶ大切なこと
3年 藤井 万佑子

○努力賞 (発表順)

「ゲーム」は悪いもの？
3年 大千里 拓真
一つの命
1年 松本 優菜
小さな一歩
1年 阿部 美緒理
地球のためのボランティア
2年 鈴木 楓埜
本当につながるということ
2年 富澤 亮太
あいさつでつながる
2年 菅野 麻穂